



車いすで社交ダンスの全国大会
に出場

市野 玲子さん
(松岡)



車 いすダンスは、車いすの障害者と、障害を持たないパートナーとが組んで踊る社交ダンス。本格的な競技だけでなく、娯楽やリハビリのためのダンスなどもあり、若い人たちから老年寄りまで、いろいろな人たちが楽しめます。

市野さんが、車いすダンスに出会ったのは二年前。車いすの友人に誘われたのがきっかけです。昨年からは、日本・車いすダンススポーツ連盟静岡県支部の会員となり、ことし三月三日・四日には、社交ダンスの国内三大会の一つである「2001年スーパージャパンカップダンス」に、県内の車いす選手としては初めて出場しました。

市野さんは「自分で車いすを動かして踊ることで、ダンスの優雅さを感じることが出来ます。また、風を切って踊る感覚がとても気持ちよくて、楽しいですね。パートナーと手を離して踊

る場面では、自分自身で動いて踊っているのだという実感がありますよ。

大会は緊張しましたが、会場では、健常者も障害者も関係なく、皆さんがとても生き生きとした表情で、楽しそうに踊っていました。私はラテン部門で準決勝まで進むことが出来ました。が、一生懸命になれば、障害など関係なく頑張ることが出来るんだなと思いました。

車いすダンスは、一般的にはまだあまり知られていません。富士市でも、講習会などを開いて車いすダンスのPRや仲間の輪を広げていき、多くの人に知ってもらい、楽しんでもらえたらいいなと思います」と話してくれました。



問い合わせ
市野方 ☎62-6310

ズームアップ

ふじ



富士川緑地で
アルティメット全国大会を開催

アルティメットとは、アメリカンフットボールとバスケットボールの要素を合わせたフライングディスク競技です。三月十六日から十八日までの三日間、富士川緑地でアルティメットの全国大会「ドリウムカップ2001」が開催されました。

大学生を中心に、男女合わせて九十チームが参加したこの大会は、富士市ホテル旅館業組合の働きかけにより、昨年に引き続き、富士市で二回目の開催となりました。ことしは、富士常葉大学の学生がアルティメットチームを編成し、大会に参加。全国の強豪チームを相手に活躍をしました。また、十一月には、新たに全日本学生選手権の新人戦も富士市で行われます。

富士市ホテル旅館業組合組合長の渡邊恭宏さんは「宿泊客の減少に伴い、何か新しい、活力があつて継続性のある誘客事業を行おうと思ったのが大会誘致のきっかけでした。今回の大会では、約千二百人の参加者が集

まり、延べ宿泊人数は二千五百人にもなりました。富士市における経済効果も大きかったのではないかと思います。

アルティメットは、まだまだあまり知られていない競技ですので、大会の運営や準備には組合員が参加・協力をしています。また、ことしは富士常葉大学の学生さんたちが、ホストチームとして協力をしてくれました。今一番の悩みは、グラウンドの整備が大変なことですね。できれば、行政にも協力をしていただければと思っています。

全国から集まった皆さんがそれぞれの地元に戻ったとき、富士市について『よいグラウンドで競技ができ、市民との交流にも温かみがあつていいところだ』と広く宣伝してもらえたら、とてもうれしいですね」と話してくれました。

